

# 仕 様 書

1 物件の名称・数量等

ポータブル脳波計 数量：1式

2 必要とする仕様の内容

- ・ 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は下記のとおりとする。
- ・ 必須の要求要件は本院が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- ・ 当仕様書に記載のない事項及び不明な点については、適宜病院と協議すること。

項 目	技術的要件
1. 記録器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入力チャンネル数は 20 個以上を有すること。</li> <li>・ SpO2 測定など対応できるよう DC 入力端子を有すること。</li> <li>・ 脳波入力部の弁別比 (CMRR) は 100dB 以上であること。</li> <li>・ 入力抵抗は 100MΩ 以上であること。</li> <li>・ 内部雑音は 4μVp-p 以下であること。</li> <li>・ インピーダンスチェックの結果はディスプレイ上に頭図状に表示され確認が可能であること。</li> <li>・ インピーダンスチェックの結果は電極接続箱にて頭図状の LED で確認が可能であること。</li> <li>・ 以下の基準電極を切換が可能であること。                ( 耳朶電極の切換 (A1→A2、A1←A2、A1↔A2、A1+A2) ・ 頭頂基準電極導出 (VX) ・ 平均化基準導出、AV 導出 (AV) ・ ソースデリベーション法 (SD) ・ 両耳朶の平均電位 (Aav) ・ 平衡型頭部外基準電極法 (BN) )</li> <li>・ あらかじめ設定した手順に基づいてインピーダンスチェック、CAL 波形記録およびパターン切換えや賦活時脳波まで自動で測定する機能を有すること。</li> <li>・ 時定数は最大 10 秒まで設定が可能であること。</li> <li>・ サンプル周波数は最大 1000Hz を有し、全電極同時サンプリングが可能であること。</li> <li>・ 名前や ID から過去に測定したことのある患者属性情報をデータベースから検索して入力することが可能であること。</li> <li>・ ペーパーレス対応が可能であること。</li> </ul>
2. イベント入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 測定時にあらかじめプログラムしておいたリストから、マウス、フルキーボード、操作パネルからイベントの入力が可能であること。</li> <li>・ イベント発生時、イベント登録位置の縦線表示が可能であること。</li> <li>・ パターン変更・光刺激などの操作時に自動的にイベント入力が可能であること。</li> <li>・ 入力されたイベントは、画面上に波形と一緒に表示が可能であること。</li> <li>・ 入力されたイベントは、再生時にデータの頭出しに活用が可能であること。</li> </ul>

3. 表示機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーディスプレイ上に、脳波記録紙 1 枚分に相当する 10 秒の脳波波形が、タイムマークと一緒に表示が可能であること。</li> <li>・モニタージュ名や波形コメントの ON/OFF が可能であること。</li> <li>・イベントの表示が可能であること。</li> <li>・CAL (校正) 波形が表示でき、時定数による過渡現象変化の確認が可能であること。</li> <li>・画面上でキャリパー機能を有していること。(例: 定規を表示するなど)</li> <li>・選択したチャンネルのみの表示、色分け表示の設定が可能であること。</li> </ul>
4. 光刺激・過呼吸賦活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光刺激の発光周波数の自動変更手順を 3 種類 (AUT01, 2, 3) までプログラムが可能であること。</li> <li>・過呼吸のテンポを音声またはビープ音、任意の音声フレーズで指示できる専用のユニットを装備していること。</li> <li>・掛け声の時間・間隔を任意に設定が可能であること。</li> </ul>
5. データファイリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体内蔵のハードディスクが 50Gbyte 以上で、保存電極数 25 電極 +2 マークのサンプリング周波数 500Hz では約 500 時間以上の波形データの保存が可能であること。</li> <li>・CD-R・DVD-R ディスクにデータを保存が可能であること。</li> <li>・一般的なパソコンで表示可能な形式で書き出しが可能であること。</li> </ul>
6. 再生・解析機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定中でも過去データの再生を行い、波形の確認が可能であること。</li> <li>・測定した脳波データは電極単位で保存し、再生時には自由自在にモニタージュを変更 (リモモニタージュ) したり、ハイカットフィルタや時定数の変更 (リフィルタリング)、感度の変更、基準電極の変更、表示スピードの変更が可能であること。</li> <li>・各パターンの頭出し・賦活刺激データの頭出しが可能であること。</li> <li>・脳波を再生する際に、測定中に生じた交流障害や生体アーチファクト (筋電図、心電図、眼球運動) を除去する機能を有すること。</li> <li>・波形の表示条件 (感度、TC、HF、Pattern、表示時間) を設定・登録することが可能であること。</li> <li>・波形再生前にイベントの有無を把握が可能であること。</li> <li>・別の波形部分または同じ被検者の別ファイルの波形を表示して、比較参照することができるスナップ機能を有すること。</li> <li>・波形をプリンタで印刷することが可能であること。</li> </ul>
7. データ管理機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存される波形データはデータベース化が可能であること。</li> <li>・患者情報に入力されている項目でキーワード検索、複数の項目の組み合わせ検索等が可能な検索機能を備えていること。</li> </ul>
8. システム接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定した脳波データを既存の生理検査システムに保存することができ、脳波データの一括管理が可能であること。</li> <li>・測定した脳波データは既存の生理検査システムを介して、または脳波参照ソフトがインストールされている電子カルテ端末で参照お</li> </ul>

9. その他	<p>よび脳波波形の表示条件（感度、TC、HF、Pattern 等）を変更が可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入後 1 年間は無償で点検を行うこと。</li> <li>・ 本体はキャスターを有し、移動可能であること。</li> <li>・ 搬入、設置等費用を含めること。</li> </ul> <p>※同等品可</p>
--------	---

3 納品場所

茨城県笠間市鯉淵 6 5 2 8

茨城県立中央病院

4 調達の条件（以下に必要な一切の費用を見込むこと。）

- ・ 使用できるよう搬入、据付、接続、調整、動作確認を行ったうえで、取扱説明を行うこと。
- ・ 納入により生じた梱包材料等は持ち帰り処分すること。
- ・ 供給者は、技術支援及び教育、講習支援を十分に実施し得る体制を確立しておくこと。

5 納入期限

令和 7 年 2 月 2 8 日（金）

納入にあたっては、事前に連絡調整すること。